

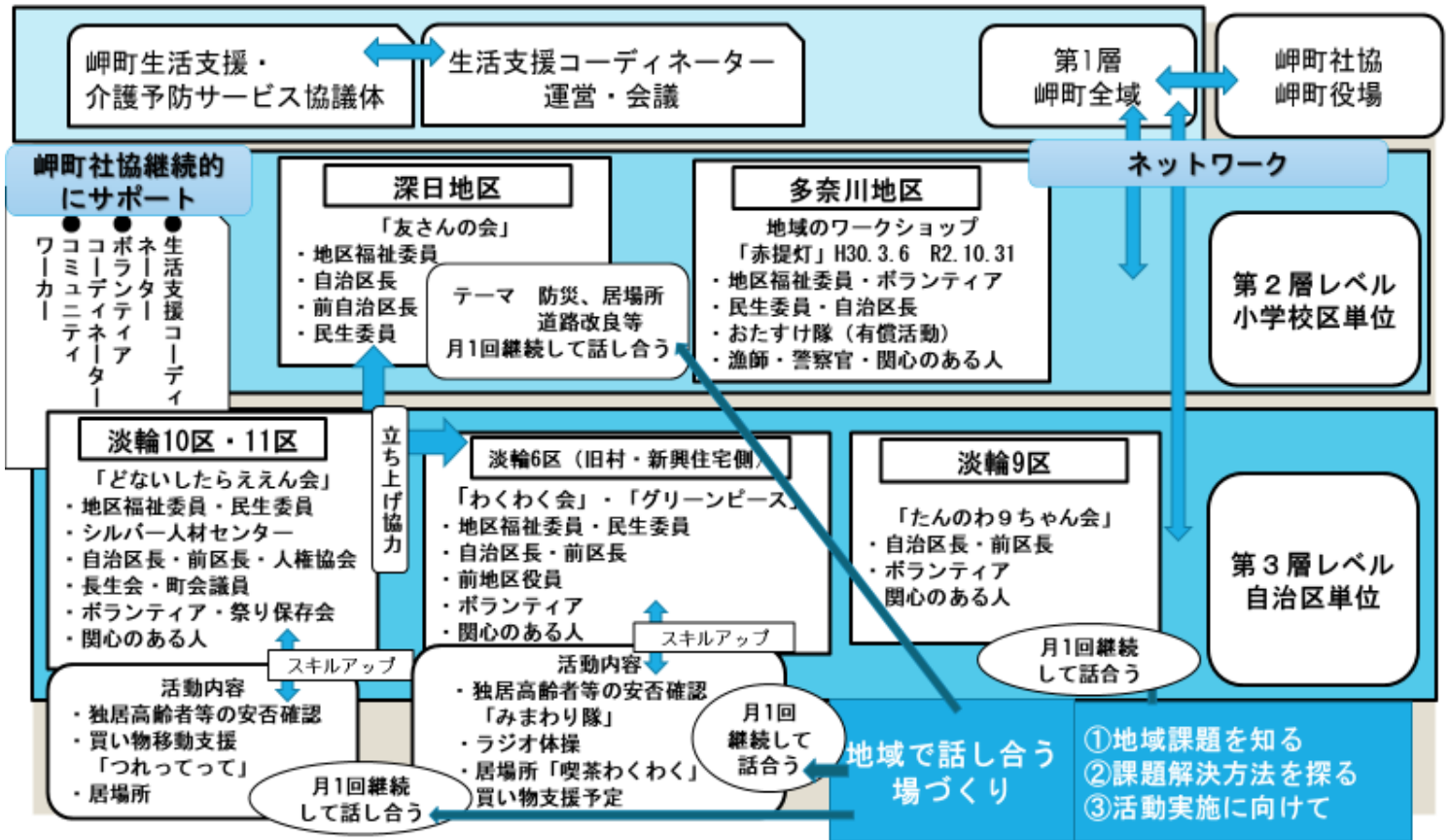
多様な主体による生活支援・介護予防サービス協議体まとめ

★支え合いのある地域づくり

※第1層協議体会議は、「出会いの場・顔の見える場・情報交換の場」です。

※第2層、第3層レベルの協議体から第1層協議体へと課題や情報の共有、解決に向け連携しています。

【第2層、第3層レベルの協議体活動アプローチ・ネットワークの流れ】



★岬町生活支援・介護予防サービス協議体から派生した地域活動

- ①多奈川地区「赤提灯」（平成30年3月6日開始）
 多奈川地区「赤提灯PART2」（令和2年10月31日地域のワークショップ開催）
 多奈川地区「赤提灯PART3」（令和3年3月28日地域のワークショップ開催⇒
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期）
- ②淡輪10区・11区「どないしたらえん会」（平成30年5月28日開始）
- ③淡輪6区「わくわく会」（平成30年11月21日開始）
- ④淡輪6区新興住宅側「グリーンピース」（平成31年4月25日開始）
- ⑤深日地区「友さんの会」（令和元年8月23日開始）
- ⑥淡輪9区「たんのわ9ちゃん会」（令和2年9月12日開始）

**令和3年度
岬町生活支援コーディネーター設置業務運営事業計画書**

1、地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

①地域ニーズの把握 【実施済】

②地域資源の調査・整理

(1) サロン・コミュニティカフェの実態調査・整理【実施済】

「まちなかサロン・コミュニティカフェ in みさき」→【更新】(新規追記)

(2) 岬町全体の福祉サービス・提供者の把握・整理【実施済】

「岬町地域資源の整理」→【更新】(10月1日)

2、地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけ 【形成済】→重層化

3、関係者のネットワーク化

① インフォーマルなネットワーク化 【形成済】→重層化

○地域福祉関係者のネットワーク

② フォーマルなネットワーク化 【岬町において、形成済】

○他職種他機関・専門職のネットワーク

③ 「①インフォーマル」と「②フォーマル」の相互連携・ネットワーク化

→ 岬町(福祉課)と協働推進(協議体運営支援、事業活動実践等を通じて)

4、目指す地域の姿・方針の共有・意識の統一

→ 住民主体で学ぶ「福祉・介護シリーズ講座」の開催

目的「地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進に向けて」

5、生活支援の担い手の養成やサービス開発

①認知症カフェの立ち上げ

1) おにぎりサロン開催【継続】

【平成31年3月17日モデル開催→平成31年4月14日立ち上げ・組織化】

2) 認知症カフェのモデル実施・立ち上げ【継続】

おにぎりサロンをベースとした認知症カフェ「喫茶Sunデー」の開催

【令和2年9月27日モデル実施開始、令和2年10月18日勉強会開催】

②サロンやコミュニティカフェの継続化・活性化・専門化【継続】

活動の担い手の養成、専門性(プログラム化)等を取り入れ活性化

【平成30年度モデル実施 → 令和元年度プログラム化】

③有償ボランティアの組織化に向けて【継続】

1) 担い手養成講座の開催【継続】

2) フォローアップ講座の開催【継続】

6、ニーズとサービスのマッチング

- ①地域支援ニーズとサービス提供主体の活動をマッチング → 随時・実施
- ②地域の移動サービスを考えるきっかけづくりに向けた研修講座の開催

○ 協議体運営・支援

- ① 協議体会議の運営 → 年1~2回
- ② 地域での助け合い活動創出に向けた、地域支援・組織化活動【継続・拡充】
 - 1) 「赤提灯」(多奈川地区／平成30年3月6日開始)
 - 2) 「どないしたらええん会・地域を知る“BAR”」
(淡輪10区・11区／平成30年5月28日開始)
 - 3) 「わくわく会」(淡輪6区／平成30年11月21日開始)
 - 4) 「グリーンピース」(淡輪6区新興住宅側／平成31年4月25日開始)
 - 5) 「友さんの会」(深日地区／令和元年8月23日開始)
 - 6) 「たんのわ9ちゃん会」(淡輪9区／令和2年9月12日開始)
- ③ 上記②地域支援団体のネットワーク化(意見交換・交流の場等の創出)